

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 113	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
要望問題名 三浦半島における冬作の新規導入作物の栽培実証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、ダイコンの出荷価格の低迷が続いている。こうした中、年内どりダイコン栽培の一部を早春キャベツ栽培に切り替える農家も見られるが、早春キャベツについても全国的に栽培面積は増加傾向で価格も伸び悩むことが多い。そこで、比較的高い出荷価格を見込むことができ、半島内の一部で導入が見られるコカブの夏まき栽培（8月まき・10月収穫）、秋まき栽培（9月上旬～10月中旬まき・10月中～12月中旬収穫）及びレタス晩夏まき（9月上旬まき・12月中旬収穫）について今後の本格的な導入を検討するため、品種の選定や栽培技術の実証が望まれている。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	年内ダイコンの価格低迷は、消費減など構造的な問題によるものであり、今後、適切な需給調整を実施する必要があると認識しております。レタスについては、当所において12～2月どり作型で品種選定試験を実施していますので、引き続き検討します。 一方、コカブについては、他産地での栽培事例等を参考に、三浦半島に適した作型及び品種の選定試験を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			